

私は、市議会公明党を代表して、ただいま議題になっております75歳以上の医療費窓口負担について原則1割負担の継続を求める陳情について、反対の立場で討論いたします。

皆様ご存知のとおり、いわゆる団塊の世代が来年以降75歳以上になり始め、40年ごろには高齢者人口がピークとなり、今後、医療費の増大が避けられない状況との予測があります。

現在も、現役世代が後期高齢者の方々の医療費を賄うために、現役世代の皆様が納めた健康保険料から、年に約7兆円規模の拠出をしており、今後は、さらにさらに、拠出金が重くなる状況であります。

そのような中で、一定の所得以上ある後期高齢者の方々の窓口負担を増やすことは、現役世代の負担を抑え、医療制度の持続性を高めることにつながると思いますし、すべての世代が公平に支え合う全世代型の社会保障制度の実現が重要だと考えます。

よって、75歳以上の医療費窓口負担について原則1割負担の継続を求める陳情に対し、反対といたします。